

様式1(記入要領)

履歴書		写真添付
フリガナ		
氏 名		
性別 ※ 生年月日	年 月 日(満 歳)	
現住所	〒	
電話		
Email アドレス		
連絡先住所(現住所と異なる場合)		
学 歴		
年 月	事 項	
年 月	大学もしくは大学と同等以上と認められる学校に入学した時点からすべての学歴を記入してください。また、学位取得の有無を明記してください。	
年 月		
年 月		
職 歴		
年 月	事 項	
年 月	全ての職歴を書いてください。	
年 月		
年 月		
学会及び社会における活動等		
現在所属している学会		
年 月	事 項	
年 月	学会および社会における活動のうち、教育分野ならびに研究分野に関連する事項を記入してください。	
年 月		
年 月		
資 格 等		
年 月	事 項	
年 月	関連する資格、学位、教員資格等を記入のこと。学位は専攻分野および学位論文の名称も明記してください。合、 <u>合</u> 指定を受けたことがあれば、それも記入してください。	
年 月		
年 月		
賞 罰		
年 月	事 項	
年 月		
年 月		
上記のとおり相違ありません。		
令和〇〇年 〇月 〇〇日 本人氏名 〇 〇 〇 〇 印		

※「性別」欄: 記載は任意です。未記載とすることも可能です。

様式2(記入要領)

研究業績一覽

研究分野		
研究内容のキーワード(5つ以内)		
研究者番号		
著書・学術論文など		
著書(学術書)	単著	冊
	共著	冊
	監修	冊
著書(教科書・啓蒙書)	単著	冊
	共著	冊
	監修	冊
学術論文(査読有り)	単著・筆頭著者	本
	共著	本
学術論文(査読無)	単著・筆頭著者	本
	共著	本
ブローカー・ディンクス等(査読有り)	単著・筆頭著者	本
	共著	本
ブローカー・ディンクス・報告書等(査読無)	単著・筆頭著者	本
	共著	本
その他		項目
競争的研究資金		
文部科学省科学研究費補助金	研究代表者	本
	分担研究者	本
厚生労働省科学研究費	研究代表者	本
	分担研究者	本
その他	研究代表者	本
	分担研究者	本

著書・学術論文など

著書、学術論文、プロシーディングス・報告書、その他に分け、それぞれ発表順に通し番号を付けて記入してください。
著書、学術論文を通じて、審査を希望する業績(3本)について◎印、主要な業績(20本以下)について○印を付け、概要に200字程度の要旨を記入してください。それ以外のものについては要旨を記入する必要はありません。また、審査を希望する業績については6(3)②の資料として別添してください。

主要	著書の名称	単著、共著、監修の別	学術書、教科書等の別	発行又は発表の年月	発行所、発行雑誌又は発表学会等の名称	概 要
	(著書)					
	1.					
	2.					
主要	学術論文等の名称	単著・筆頭著者・共著の別	査読の有無	発行又は発表の年月	発行所、発行雑誌又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文)					
	1.					
	2.					
	(プロシーディングス・報告書)					
	1.					
	(その他)					
	1.					

著書・学術論文に関しては、文科省の大学の設置に係る提出書類の作成の手引き(令和7年度開設用)174～177ページの教員個人調書の書き方に準じます。ただし、筆頭著書を書くこと、学術書と教科書の別および査読の有無を別欄にしております。
(https://www.mext.go.jp/content/20240222_mxt_daigaku03-000031959_03.pdf)

競爭的研究資金

文部科学省科学研究費、厚生労働省科学研究費、その他に分け、それぞれ受けた順に通し番号を付けて記入してください。

[illegible]

様式3(記入要領)

欄が足りなければ、適宜増やして下さい。

教育実践業績一覧

教育上の能力に関する事項		
事項	年 月	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書・教材		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項	—	

1～4までは、文科省の大学の設置に係る提出書類の作成の手引き(令和7年度開設用)174～177ページの教員個人調書の書き方に準じます。
(https://www.mext.go.jp/content/20240222-mxt_daigakuc03-000031959_03.pdf)

これまでに担当された主な科目とその内容			
	—		
	—		

ご専門に近い主な担当科目について、担当科目名、学校名、授業の目標と概要、対象学年・学部学科にまとめて書いてください。
また、大学院で科目担当や論文指導をした期間があれば、(ご専門に近いかどうかにかかわらず)同様にまとめ、大学院担当であることを明記してください。

実践に関する事項		
実績項目	年	内容
	—	

実践の実績の欄には、1件ごとではなく、「何年から何年までここでこのような実践をした」という形にまとめた概要を書いていただいても結構です。